

令和7年7月10日	
所 属	歴史博物館
所属長	門田真由美
電 話	06-6489-9801

展覧会「にっぽん博覧会ものがたり 後期・現代編」を開催します

1 概 要

4月13日から10月13日まで2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催されています。これを記念して、尼崎市立歴史博物館では、資料点数約4700点にも及ぶ同館を代表するコレクションである博覧会資料コレクションのなかから逸品を展示し、明治から平成までの日本の博覧会の歩みを紹介する展覧会「にっぽん博覧会ものがたり」を、4月から9月まで2期に分けて尼崎市立歴史博物館（前期）と尼信会館（後期）で開催します。戦後の日本の博覧会の歴史を紹介する「後期 現代編」は、尼崎信用金庫との共催事業として7月から9月まで尼信会館で開催します。

2 あましん&れきはくコラボ展 にっぽん博覧会ものがたり《後期・現代編》

- (1) 会期
令和7年7月19日（土）～9月21日（日） 開館時間 10時～16時
休館日 月曜日・祝日（土曜日・日曜日と重なる場合は開館）
- (2) 会場
尼信会館 3階 展示室（尼崎市東桜木町3）
- (3) 取り上げる博覧会
 - ・日本貿易産業博覧会（昭和25・1950）
 - ・アメリカ博覧会（昭和25・1950）
 - ・尼崎防潮堤完成記念栄える産業博覧会（昭和29・1954）
 - ・日本万国博覧会（大阪万博、昭和45・1970）
 - ・沖縄国際海洋博覧会（沖縄海洋博、昭和50・1975）
 - ・神戸ポートアイランド博覧会（ポートピア '81、昭和56・1981）
 - ・国際科学技術博覧会（科学万博一つくば '85、昭和60・1985）
 - ・国際花と緑の博覧会（花の万博、平成2・1990）
- (4) 関連事業
 - ① 水曜歴史講座
 - ・日時 9月10日（水） 午後2時～4時
 - ・会場 歴史博物館 3階講座室
 - ・講師 桃谷和則（同館学芸員）
 - ・演題 戦後復興期の博覧会
 - ② ギャラリートーク
 - ・7月20日（日）、8月2日（土）・16日（土）・30日（土）、9月13日（土）・21日（日）
 - ・会場は展示会場
 - ・時間はいずれも午後2時～3時
 - ③ 世界の貯金箱博物館での70年大阪万博関連貯金箱・大阪関西万博参加国の貯金箱の展示
- (5) 主催等
 - ・主催 尼崎信用金庫・尼崎市教育委員会・尼崎市
 - ・協力 一般社団法人あまがさき観光局
- (6) 観覧料
無料

3 問い合わせ先

尼崎市立歴史博物館（兵庫県尼崎市南城内10-2、TEL06-6489-9801）
担当学芸員：桃谷和則

以 上

戦後日本の博覧会

の歩みを振り返る

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催に合わせて、
1950(昭和25)年開催の日本貿易産業博覧会から1990(平成2)年開催の国際花と緑の博覧会までの8つの博覧会について、
尼崎市立歴史博物館が誇る日本最大級の博覧会資料コレクション所蔵資料により紹介します。

観覧
無料



にっぽん博覧会ものがたり【後期・現代編】

あましん×
れきはくコラボ展

2025.
7.19(土) - 9.21(日) 10:00-16:00
休館日/月曜日・祝休日
(土曜日・日曜日と重なる場合は開館)

会場 | 尼信会館 3階 展示室 (尼崎市東桜木町3)



＊水曜歴史講座 受講無料

日時：9月10日(水) 14時～16時
会場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
講師：桃谷和則(尼崎市立歴史博物館学芸員)
演題：戦後復興期の博覧会
定員：当日先着80名(事前申込不要)

＊ギャラリートーク 参加無料

会場で主な展示資料を解説します。
日時：7月20日(日)
8月2日(土)・16日(土)・30日(土)
9月13日(土)・21日(日)
各日14時～15時
会場：尼信会館 3階 展示室
定員：当日先着20名(事前申込不要)



同時開催！

観覧
無料

「世界の貯金箱博物館」では
1970年大阪万博関連貯金箱や
大阪・関西万博参加国の貯金箱を
展示しています。
ぜひお立ち寄りください。



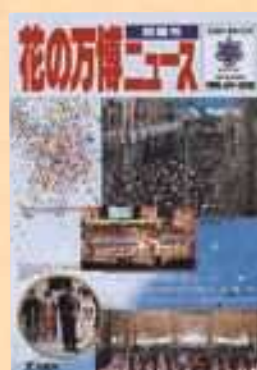
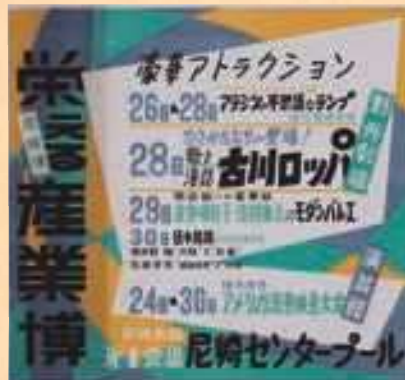
阪神電車尼崎駅下車 西改札口から南西に徒歩約5分

主催/尼崎信用金庫・尼崎市教育委員会・尼崎市
協力/一般社団法人あまがき観光局

【お問い合わせ】尼信会館
TEL06-0864 尼崎市東桜木町3番地 TEL06-6413-1121

■展示物に関するお問い合わせは
尼崎市立歴史博物館
TEL06-0825 尼崎市南城内10番地の2
TEL06-6499-9801(文化財担当)





日本貿易産業博覧会

1950(昭和25)年

兵庫県・神戸市の主催により、神戸市の王子公園・湊川公園を会場に1950(昭和25)年3月15日から6月15日まで開催されました。「神戸博」の愛称で呼ばれ、空襲により大きな被害があった神戸の復興に貢献しました。

アメリカ博覧会

1950(昭和25)年

朝日新聞社の主催により、西宮市の阪急西宮球場一帯を中心に1950(昭和25)年3月18日から6月11日まで開催されました。アメリカの歴史と文化を紹介する博覧会で、アメリカ一周大パノラマが人気を博しました。

尼崎防潮堤完成記念栄える産業博覧会

1954(昭和29)年

尼崎市・兵庫県・朝日新聞社の主催により、尼崎センタープール一帯と甲子園阪神パークを会場に1954(昭和29)年3月20日から5月19日まで開催されました。尼崎を台風の高潮被害から守る防潮堤の完成を記念して開催された博覧会で、尼崎センタープールの北側と西側に設けられた第一会場には、尼崎館や兵庫県館、産業館、自動車館などのパビリオンが建ち、演芸ホールや野外ステージでのイベントやサーカスの興行も行われました。

日本万国博覧会(大阪万博)

1970(昭和45)年

アジア初・日本初の万国博覧会となる日本万国博覧会は、大阪の千里丘陵を会場に1970(昭和45)年3月15日から9月13日まで開催されました。「人類の進歩と調和」をテーマに80を超える外国政府等が参加した「大阪万博」には、太陽の塔を囲むシンボルゾーンを中心に数多くのパビリオンが建ち並び、日本庭園やエキスポランドが330万平方メートルの会場内に配置されました。入場者数は6420万人を超え、万国博覧会史上最大の成果を収めました。

沖縄国際海洋博覧会(沖縄海洋博)

1975(昭和50)年～1976(昭和51)年

「海—その望ましい未来」をテーマとした沖縄国際海洋博覧会は、沖縄本土復帰記念事業として、沖縄の本部半島を会場に1975(昭和50)年7月20日から翌1976(昭和51)年1月18日まで開催されました。

神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)

1981(昭和56)年

神戸ポートアイランド博覧会協会の主催により、神戸市のポートアイランドを会場に1981(昭和56)年3月20日から9月15日まで開催されました。本博覧会の成功は、地方博覧会ブームが起こる契機となりました。

国際科学技術博覧会(科学万博—つくば'85)

1985(昭和60)年

「人間・居住・環境と科学技術」をテーマとした国際科学技術博覧会は、茨城県の筑波研究学園都市を会場に1985(昭和60)年3月17日から9月16日まで開催されました。映像展示が多用された博覧会でした。

国際花と緑の博覧会(EXPO'90、花の万博)

1990(平成2)年

アジアで初めて開催された国際園芸博覧会である国際花と緑の博覧会は、大阪市の鶴見緑地を会場に1990(平成2)年4月1日から9月30日まで開催されました。会場は野原・街・山の3つのエリアに分かれていました。